

実施要領		お申込要領	
対象者	若手・後継経営者の皆様	申込方法	下記の申込書にご記入のうえ、お取引店窓口または渉外担当者までお申込ください。
期間	2025年5月～2027年3月	申込締切	2025年3月31日（月）
会場	日本海信用金庫 2階会員ホール	受講料の支払方法	2025年5月の発会式の際にご用意ください。
定員	15名	お問合せお申込み	日本海信用金庫 業務推進部 〒697-0027 浜田市殿町 83 番地 1 TEL 0855-22-1861 fax 0855-23-8494 E-mail 1711002@facetoface.ne.jp
受講料	お一人様 2年間 70,000円(35,000円/年) (消費税込)		

日本海信用金庫 業務推進部 行き

後継経営者育成塾 第12期『せがれ塾』 申込書

ふりがな				生年月日	S・H 年 月 日
お名前				性別	男 ・ 女
貴社名				所属部署	
				役職名	
ご住所 ・ 連絡先	〒 -				
	Tel (携帯)	(- -)	fax	- -	
	E-mail				

<留意事項>

※ この資料はそのまま、『せがれ塾』塾生名簿になります。なるべく記入漏れのない様、ご記入ください。

※ ご記入いただいた個人情報は、名簿作成以外には利用いたしません。

第12期 せがれ塾生 募集のご案内



日本海信用金庫

後継経営者育成塾「せがれ塾」

1. 事業開始までの経緯

日本海信用金庫は、後継経営者にきちんとバトン渡しをするための環境を作ることが地域再生、ひいては地域活性化に繋がると考え、「せがれ塾」を平成16年11月18日に発足しました。

経営者には企業を永續させ、次世代へと事業資産を引き継ぐことが求められており、そのために必要な正しい経営の知識・見識を身につける場所と機会を提供し、また、当金庫と後継経営者の関係構築、金庫職員の経営相談能力の向上を図っていかうとするものです。

これらの活動は日本海信用金庫の“責務”であるとの熱い思いであり、令和6年11月に「せがれ塾」の発足から、お陰さまで20周年を迎えることができました。



2. 事業の特色

塾生として、当金庫営業地区内の核となる企業の志の高い後継経営者の方に参加いただいています。外部講師（地元県立大学の講師等）による講演会開催、専任講師によるセミナーの開催を行っています。

本講座では後継経営者だけでなく、当金庫の担当職員も勉強会へ参加し、真の意味で取引先のパートナーとなるべく、後継経営者と共に学び、語り合い共に成長をし、地域経済の発展に貢献したいと考えています。塾生OBとも繋がりを継続していくために、せがれ塾「忘年懇親会」または各講演会等にも参加を呼びかけ、塾生との交流を図り「絆」をさらに深めています。



第1期生から第10期生の卒業生数は、延べ157名（うち当金庫職員35名）、現在の第11期生は15名（うち当金庫職員3名）です。塾生の業種は多岐にわたり、異業種交流による新たなビジネス展開も生まれています。

3. 受講者の声



- 目標意識を持つことの重要性を教わった。
- 貸借対照表の重要性や、予算策定のための重要なプロセスが勉強でき、非常に参考になった。
- 事業継承や実際に事業に役立つ講義など、大変勉強になった。
- 同じ課題をもつ他の塾生との接点を持てたことを大変うれしく思う。
- せがれ塾の先輩方の実際の経験談が聞けて、参考になった。

4. 今後の展望

今後も引き続き実践的なセミナーを開催し、後継経営者のための勉強の場・出会いの場を提供していきたいと考えています。また、せがれ塾を卒業された後も他塾生との交流を深めていただけるよう交流行事を企画するとともに、“せがれ”の“せがれ”もまた「せがれ塾」に入塾していただけるよう、企画・運営してまいります。

5. カリキュラム

本講座は15名程度の少人数制で、2年間のプログラムです。1回2時間から2時間半の勉強会及び講演等を実施し、当金庫の担当職員と共に考えて頂きます。

6. スケジュール

（現時点での予定であり都合により変更となる場合がございます。）

	開催月	内容
2025年	5月	第12期「せがれ塾」発会式
	6月	事業承継について 講師 信金中央金庫 地域・中小企業研究所
	7月	事業承継に向けた中期経営計画策定 講師 島根県立大学 地域政策学部 准教授 佐々木 真佑（ささき しんすけ）氏
	10月	
	11月	
12月		
2026年	2月	・外部講師による講演会 （人材育成、副業人材の活用 SNSの活用、PEP TALK）
	5月	
	6月	
	9月	・せがれ塾OBによる経験談
	10月	・卒業視察研修の実施 ・卒業発表会準備講座
	11月	
12月		
2027年	2月	※第11期の事例 修了式・卒業証書授与式
	3月	